

## 慶應SFC学会 成果報告書

### フランス及びモロッコの建築・都市計画について

慶應義塾大学 環境情報学部 3年 秋田頌太

慶應義塾大学 総合政策学部 2年 坂本和乃音

- 2023/9/13～2023/9/16 フランス パリ
  - パリのペリフェリック内部の都市計画に焦点を当ててフィールドワークを行い、厳格な都市計画と環境に配慮した先進技術の取り合いを調査した。建築物の高さが一定に揃っているため、通りに入った際に奥行きを感じやすく、ランドマークの視認性が高い環境となっている。(写真1～3)



写真1～3:建築物の高さは一定(著者撮影)

- パリにおける調査結果の中で日本の都市計画においても参考となる事例として「都市の保存と近代化の両立」がある。都市を構成する最大の単位を建築物とすると、都市の保存には建築物の保存が欠かせない。パリの建築物は高さが一定かつ外観が古くから変わらない一方で、内部の設備は近代化しており、文化的遺産としての価値の保存と現地住民の暮らしやすさを両立している。
- 2023/9/17～2023/9/19 モロッコ ラバト
  - 首都ラバトの旧市街及び新市街について調査・比較を行った。旧市街では入口の門の装飾に込められた意味や旧市街に住む人々の暮らしについて歴史的な文脈から学び、新市街の発展と並行して都市の保存が行われている様子を視察した。
  - 新市街ではラバトと隣接するサレを結ぶトラム網の整備状況について調査した。世界でもスマートシティの先進事例として名高い、トラムを基軸としたラバトの取組みを学び、日本の地方都市においても導入し得る点を模索した。
- 2023/9/20～2023/9/21 モロッコ フェズ
  - モロッコ有数の大都市フェズのメディナにおいて建築及び都市のフィールドワークを行った。メディナでは現在も伝統的な産業が根付いており、タイル・陶器の工房及び皮なめし場、絨毯の製造現場等を見学した。見学中は随時、現地の専門家や各施設の代表者からモロッコの伝統建築及びフェズの都市構造についてレクチャーを受けた。
- 2023/9/22 モロッコ カサブランカ
  - モロッコ最大の都市カサブランカの近代的街並みとフランス植民地時代の街並みを調査し、特性が大きく異なる両地域の取り合いについて調査を行った。

- 都市の中心部は他都市と比較して近代的な高層建築物が多く、道路の整備状況や車線の多さから経済的発展の度合いが都市空間に反映されていることが読み取れた。
- ハブース地区を訪れ、新メディナの街並みを調査した。現在も道の両端をスークが埋め尽くしており、伝統衣装や金属加工品、現地産の加工食品等の地域に根差した産業が発展していた。
- 2023/9/23～2023/9/24 モロッコ マラケシュ・アミズミズ
  - マラケシュの旧市街及び近代的地区で都市及び建築のフィールドワークを行った。現存のモスク及び旧モスクの跡地について現地の専門家と共に新旧の地図を読み解き、モスクをメッカの方角に向けて設計するという文化的特性から、実際の角度との比較を行うことで測量精度の発展を定量的に調査した。
  - また、2023/9/8(現地時間)にマラケシュから近いアトラス山脈を震源とする地震が発生したことを受けてアミズミズへ向かい、都市及び建築への影響を調査した。(写真4～6)



写真4～6:アミズミズにおける被災状況(著者撮影)

- モロッコの伝統建築は主に土によって作られているため、構造的に耐震性が低い。現地は日本と比較して地震が少ないものの、今回のように大規模な地震が発生すると被害が甚大になることが分かった。
- 到着時点では仮設の避難場所としてテントが設置されており、倒壊した建物については解体作業が行われていた。
- 2023/9/25～2023/9/26 モロッコ ベンゲリール
  - ベンゲリールのモハメド6世工科大学、建築・計画・デザイン学部において現地学生及び教授と、モロッコにおけるフィールドワークの調査結果に基づく都市計画立案のワークショップ及びセミナーを実施した。
  - 現地大学教授より講義を受けた後、日本のモスクを対象として、事前に管理者からヒアリングした条件をもとに現地の学生と協働し設計コンペを行った。
  - また、先般の震災を受けて日本の耐震・制震・免振技術及び防災のための空間的な工夫についてレクチャーを求められたため質疑応答を交えながら我々が講義を行い、講義後は実践としてキャンパス内の建築物を対象に地震対策を実施した。
- 2023/9/27 モロッコ カサブランカ
  - カサブランカ市内駅においてモロッコの鉄道会社(ONCF)職員にインタビューを行った。モロッコ最大の人口 約350 万人と訪問客の円滑な輸送を担う当該機関への聞き取りを通して都市計画の遂行状況及び課題を把握した。
  - 高速鉄道の導入や空港から都市部へのアクセス改善等により市民及び訪問客の移動の利便性を向上させており、経済波及効果を実感しているという話を伺った。